

わくわく 本だな



6月



こんげつのおすすめ

★ = 1・2年

★★ = 3・4年

★★★ = 5・6年

『ルイスがたべられちゃったひ』(えほん)

ジョン・ファーデル/作 ブロンズ新社



ルイスが、かいじゅうにたべられた！おねえちゃんのサラがたすけにいくと、べつのかいじゅうがあらわれて…。

『しろおうさまとくろおうさま』(えほん)

こすぎさなえ/作 たちもとみちこ/絵 PHP研究所



カラフルな色のふくをきた7人の小人が、おしろにやってきました。しろおうさまとくろおうさまは、だいへんしん。

『ノンキーとホンキーのカレーやさん』 ★

村上しいこ/作 こばようこ/絵 佼成出版社

おいしいカレーやさんなのに、おきやくさんがぜんぜんきません。ノンキーたちはだいじなことをわすれていたのです。



『メリサンド姫 むてきの算数！』★★

E・ネズビット/作 高桑幸次/絵 小峰書店

メリサンド姫は、妖精にのろいをかけられ頭がつるつるに。魔法の小箱に、「かみが毎日3センチのびますように」と願うと…。



『5年2組横山雷太、 児童会長に立候補します！』★★★

いとうみく/作 鈴木びんこ/絵 そうえん社



児童会長に立候補したら5千円もらえる！？「なんでも屋」の雷太に、とんでもない「いらい」がまいこんだ。

『ビジュアル食べもの大図鑑』(ちしきの本)

WILLこども知育研究所/編 金の星社



チーズや牛乳は、じょうぶな骨をつくるカルシウムがあります。食べ物には、どんなパワーがあるのかしらべてみよう。



あたらしく はいった本

『あひるの手紙』 ★

朽木 祥／作 ささめやゆき／絵 佼成出版社



いちねんせい
一年生のクラスにふしぎなてがみがとどきました。なかには「あひる」とかかかっているだけ。てがみくれたのはだれかな？

『デデとひこうき』 (えほん)

中川洋典／作 講談社

みなみのしまにすむデデは、はじめてひこうきにのることになりました。大きくてピッカピカのひこうきだといいな。



『おばけどうぶつえん』 ★

吉田純子／作 つじむらあゆこ／絵 あかね書房



ポーちゃんはとってもこわがりなおばけ。「おばけどうぶつえん」にいて、べんきょうしなさいとせんせいにいわれますが…。

『かあさんのしっぽぽ』 ★

村中季衣／作 藤原ヒロコ／絵 BL出版

ゆうい
結衣は、おこったときのかあさんのかおが、キツネにみえました。もしかしたらかあさんは、キツネがばけているのかも。



『なんでそんなことするの?』 ★★

松田青子／作 ひろせべに／画 福音館書店

学校でからかわれてばかりのトキオくん。でも、ネコのミケが学校についてくると、ふしぎなことがおこるようになります



『ゾウがとおる村』 ★★★

ニコラ・デイビス／文 アナベル・ライト／画
さ・えら書房



ウィレンの村のすぐそばでは、インドゾウがくらしています。ゾウをじゃまに思う人もいますが、村の長老だけはちがいました。

『パン・ジャム・ミステリー』

おうじょ あか なみだ
『王女の赤い涙』 ★★★

山田りゆうこ／著 幻冬舎ルネッサンス



ほうせき
平和な町で、つぎつぎと宝石がぬすまれる事件がおきた。少年たんていのダンたちは、ある「ひみつ」に気がつく！

『ハヤト、ずっといっしょだよ』 (ちしきの本)

井上こみち／著 アリス館

馬のきもちがわかるようになりたいマキ。世話をするうちに、がんこだったハヤトのようすが変わってきました。



『おもてなしの大研究』 (ちしきの本)

だいけんきゆう
柴崎直人／監修 PHP研究所

ゆうえんち くうこう
遊園地や空港ではたらく人たちは、いろんな「おもてなし」をしているよ。どことなくふうをしているかさがしてみよう。



読みたい本、さがしている本は窓口で聞いてね！としょかんのホームページも見てください。

< 編集・発行 > 富山市立図書館 富山市丸の内1丁目4-50 電話 076-432-7273